

# << 利用校の声 大学・専門学校① >>

## ○上智大学 文学部・音教授「ジャーナリズムの現在」

使用番組：いつわりといすわり 財政難のまちで（2018. チューリップテレビ）ほか

- ・「反転授業」の形式を取ったことで、学生たちの反応も良く、また、制作者側も、学生たちとのディスカッションが盛り上がり興味深かったとの感想をいただくと共に、現代の若者が番組のどこに、どう反応するのかをよく理解することができ、今後の制作に活かせるとのこと好評であった。

## ○沖縄国際大学 経済学部・島袋非常勤講師「公害概論」

使用番組：日本の素顔〔99〕 奇病のかけに（1959. NHK）、市民たちの水俣病（1997. 熊本放送）ほか

- ・授業で放送番組を活用することで、活字だけでは伝わらない、現場の方々の言葉や表情、そして取材者の視点を伝えたいと思った。公害問題を歴史年表や数字（被害者が何人）として理解するのではなく、人の命や生活の営みにかかわるテーマなのだとすることを、映像を通して実感してもらいたいと考えた。
- ・実際、学生たちの反応は予想以上で、年表だけでは伝わらない、人間の存在を感じたようだ。彼らは作品を通して、公害被害が長い年月にわたり影響を及ぼしていること、まだ終わっていないことを学ぶことができた。公害問題を自分ごととしてとらえる助けになったと思う。
- ・若い人たちはテレビやドキュメンタリーを見ないと言われるが、授業で映像作品を見せると、食いつくように集中する。映像作品にはジャーナリストの情熱や取材の蓄積が存在する。時代を超えて、取材者や取材対象者の思い、熱が伝わってくるのではないかと感じた。

## ○関西大学 社会学部・松山教授「放送ジャーナリズム論」

使用番組：映像'07 夫はなぜ、死んだのか 過労死認定の厚い壁（2007. 毎日放送）ほか

- ・2022年度から引き続き、毎日放送制作のドキュメンタリー番組「映像」を利用した。日ごろドキュメンタリーを見る機会が減った大学生に対し、自宅で番組を視聴できる環境を整えていただけたことは、あらためて意義深いことであった。また昨年度に引き続き、本講座では「反転授業」という形をとった。学生たちには講義前に事前に視聴させ、自分の考えをまとめるよう指示したことで、教育効果をさらに上げることができた。

## ○広島大学 人間社会科学研究科・畑講師「日本国憲法」

使用番組：NNNドキュメント'07 声の壁 発言できない議員（2007. 中京テレビ放送）ほか

- ・学生に提出させた視聴後のコメントからは、番組中の市会議員が発声障害者なので、日常生活の不便の程度や建前に終始する市議会の対応が社会的障壁であって、それらに対する原告や支援する家族の怒りなどが驚きや哀しみとともに明確に伝わったとのことであった。

# << 利用校の声 大学・専門学校② >>

## ○桜美林大学 リベラルアーツ学群・塚本教授「ドキュメンタリーを見る」

使用番組：風に舞う夢 西南戦争 九州を駆けた若者たち（1993．R K B 毎日放送）、田舎のコンビニ（2010．テレビ金沢）ほか

- ・大変集中して視聴していた。古典的な名作では、まだ貧しく、社会問題も深刻だったかつての日本の姿を実感するとともに、当時のドキュメンタリストの努力を実感したようだった。
- ・東日本大震災の現場に身を置いたわけではない学生たちにとっては、重大な出来事だったと再認識する機会となった。
- ・ユニークな作りで知られる木村栄文の作品を視聴し、ドキュメンタリーの世界の奥の深さを味わった。

## ○桜美林大学 芸術文化学群・田淵教授「ドキュメンタリー論A」

使用番組：ノンフィクション劇場 忘れられた皇軍（1963．日本テレビ）

- ・学生にとっては、時代性のある映像を観られたことはとても刺激になったようだ。非常にテーマ性が強い作品だったので、ショックを受けた部分もあったようだが、現代のドキュメンタリーの作風や演出手法との比較を詳細に行ったため、昔の先人たちの映像が残っていることの重要性や有難さも同時に感じたようだ。

## ○香川大学 経済学部・持田教授「経済学B」ほか

使用番組：夢みる頃を過ぎても〔1〕最後の夏、出逢い（1994．TBS/木下プロダクション）

- ・この数年、「就職氷河期世代」をトピックとして扱い、データで説明したり、経験者へのインタビュー調査を含んだレポート課題を課したりしてきた。氷河期の就活を扱った大学生の群像劇という履修生にとっても身近なドラマを利用した。期待以上に、学生の理解が深まったようで大変良かった。

## ○御殿場看護学校・「基礎看護学概論」

使用番組：N H K スペシャル あなたの声が聞きたい（1992．NHK）ほか

- ・看護師と患者のかかわりと看護本来の機能を、どのように展開しているのか、その実際をみることにより、看護学を学び始めた学生の学習意欲の向上につなげたいと考えた。
- ・療養上の世話を大切にしていくことが看護の原点であることを多くの学生が心にとめることができたといえる。この映像を教材に活用させていただけたことに、深く感謝する。
- ・授業の中で見せた時は、メモを取りながら真剣に見る姿勢が多くの学生に見られた。感動し涙を流す学生も見受けた。看護学概論で伝えるべき「看護のすばらしさ」を十分に伝えるものとなった。

# << 利用校の声 高校 >>

## ○神奈川県立横浜立野高等学校 「総合的な探究の時間」

使用番組：O T V報道スペシャル 菜の花の沖縄日記（2018. 沖縄テレビ）

- ・沖縄の抱える問題を知り、自分たちの当たり前が同じ国内でも当たり前ではない、ということを知るためにこの番組を選んだ。平和学習＝戦争と安直な考えにならず、現状に目を向けることができた。時間も1コマで収まる範囲でちょうどよかった。
- ・最初は他人事のように見聞きしていたが、自分達とは違う環境に置かれている日本人を見て、少しずつ興味を惹かれている様子だった。最後はこれからの探究活動と、沖縄への修学旅行に向けてなにかテーマを考え始めている生徒もいた。

## ○東京都立忍岡高等学校 「音楽（伝統芸能）」

使用番組：極める・匠と至芸の世界 三筋の糸のながながと（長唄／日吉小三八）（1988. テレビ東京/グレートデン）ほか

- ・普段の授業で、実際にお箏や三味線を使って演奏技術の向上を計っているが、師匠から弟子へと大切に引き継がれてきた技の伝承は授業内では見せることができない。ドキュメンタリー番組から伝統芸能そのものの鑑賞だけでなく、技術の伝承を感覚的に捉えてほしいと考え、利用に至った。
- ・ドキュメンタリー番組を初めて授業で使用した。学校教育向けに作られた番組ではないので、かえって生徒たちが親しみを持ちながら鑑賞し、興味を向けることができたようだ。触れることのなかなかない生き生きとした芸の世界を目の当たりにし、生徒たちがその世界観に没入していた。授業内で提出してもらったレポートでも用紙いっぱい感想を書いてくれ、反響は多くあった。

## ○山脇学園高等学校 「総合的な学習の時間～平和学習～」

使用番組：テレメンタリー2019 伝えてくるけん 広島長崎ピースメッセンジャー（2019. 長崎文化放送）ほか

- ・「戦争に関する映像を初めて見た」であるとか、「戦争に人間の姿があることが衝撃的だった」など、戦争というものを自分には関係のない、物語のような話であるかのようにとらえていた生徒が一定数いた。そういった生徒にとっては、他人事ではない、自分にも関わりうる問題と捉えるきっかけになったようである。
- ・絵が動き、音が付く映像は、生徒に効率よく情報を伝え、視覚・聴覚などの感覚を刺激するのに効果的だった。古いコンテンツであってもとても作り込まれており、その時の社会情勢によって現在とは表現も異なっているなど、相違点を探っていくのも面白かったと思う。

★[山脇学園授業レポート 放送番組センター公式note](#) (リンク)



山脇学園高等学校

# << 利用校の声 中学校 >>

## ○横浜市立もえぎ野中学校「総合的な学習の時間」

使用番組：WATCH ～真相に迫る～ 父と子 心の旅 ～禎子と折り鶴が遺したもの～（2022. 広島テレビ）

- ・広島修学旅行の平和学習の一環で、本映像に出演している佐々木祐滋さんの講演会を行った。講演会の事前学習として、佐々木祐滋さんがどのような活動をしている方なのかを学ぶため、佐々木さんの活動を言葉だけではなく映像で紹介して、どんな方なのかイメージをやすくするためにこの番組を使用した。佐々木さんの直近の活動を知ることができ、生徒が講演会を意識することができてよかった。真剣に映像を視聴していた。
- ・DVDでなく、オンラインで視聴できる点が大変良かった。また機会があれば利用したい。

## ○女子美術大学付属中学校「修学旅行事前学習」

使用番組：描けなかった2枚の絵 原爆が投下された日の記憶（2008. テレビ新広島）

- ・戦争被害の内、注目されなかった子どもについて知ることができ、学習量ももちろんのこと、大切な学習内容がいままでの自分に不足していたことを理解したようだ。またこれまで戦争について学習の機会がなかった生徒は、平和教育の重要性を感じていた。
- ・美術を柱として学習している本校の生徒は、文章よりも映像や画像の情報の方が、理解力や学習の定着度も上がる傾向にある。本校では生徒一人一人にiPadを持たせており、日常的に映像画像を制作させている。また教員も授業でホワイトボードに映像画像を授業資料として多用しているため、ビジュアルによる学習効果を実感している。

## ○成城中学校「修学旅行事前学習」

使用番組：報道特別番組 沖縄苦闘の27年 沖縄戦から復帰まで（1972. TBS）

- ・修学旅行では平和学習と民泊を予定しており、沖縄の歩んできた歴史や沖縄の人たちの思いを生徒たちに伝えたかった。
- ・集中して視聴している生徒が多かった。生徒には事前にA4のメモ用紙を渡して視聴するように指示をしたところ、用紙の裏にもメモを取っている生徒もみられた。

## ○宝塚市立宝塚中学校「道徳」

使用番組：映像'17 沖縄 さまよう木霊 基地反対運動の素顔（2017. 毎日放送）

- ・戦争に続いて、沖縄に負担を強いる基地の問題について考えを深めるために番組を視聴した。
- ・生徒から、「基地前で座り込みをしている人々がいることを初めて知った。何を信じたらよいのか見分けることが大切だと感じた」などの感想があった。
- ・沖縄の問題に新たに関心を持つ生徒とネットの恐ろしさに注目した生徒が分かれた。